

# まちづくり懇談会

## 令和4年度「まちづくり懇談会」日程表

時間 午後7時から8時30分頃まで(予定)

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 町長あいさつ

#### 3 川崎町の『まちづくり』について

##### (1) 町の財政状況について

■令和4年度一般会計予算の状況と重点政策

##### (2) まちづくりについて

■情報提供

#### 4 意見交換

#### 5 閉 会

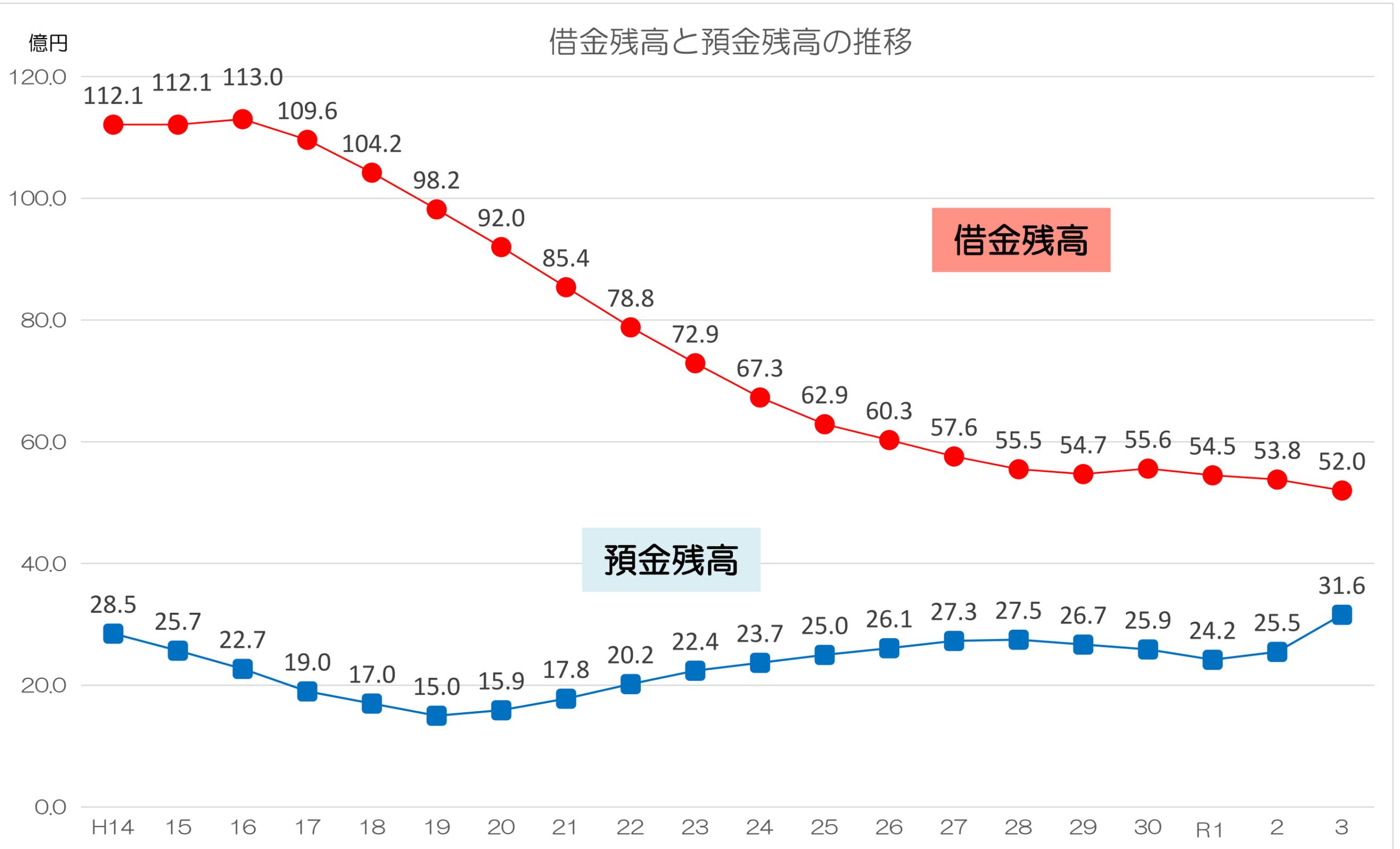
日 程	行 政 区	会 場
7月7日(木)	笹 谷	笹谷分館
7月12日(火)	古 関	古関分館
7月14日(木)	野 上	野上分館
7月21日(木)	立 野	立野地区集落センター
7月22日(金)	青 根	じゃっぼの湯健康増進棟
8月23日(火)	支 倉 上	支倉郷土文化伝承館
	支 倉 下	
8月25日(木)	碁 石	碁石地区集落センター
9月20日(火)	前 川 東	前川東部地区集落センター
9月22日(木)	前 川 西	前川西地区集落センター
9月27日(火)	小 野	小野分館
	小 沢	
9月29日(木)	川 内 一	川内地区生活改善センター
	川内北川	
10月4日(火)	倉 台	倉台分館
10月6日(木)	裏 丁 上	裏丁コミュニティセンター
	裏 丁 下	
10月11日(火)	中 新 町	中央コミュニティセンター
10月13日(木)	本 荒 町	本荒町コミュニティセンター
10月31日(月)	川 内 二	天神地区生活改善センター
	川 内 三	
11月4日(金)	本 砂 金	本砂金地区集落センター

新型コロナウイルス感染症  
拡大防止のため開催中止



# 川崎町全会計の借金と預金

借金残高と預金残高の推移



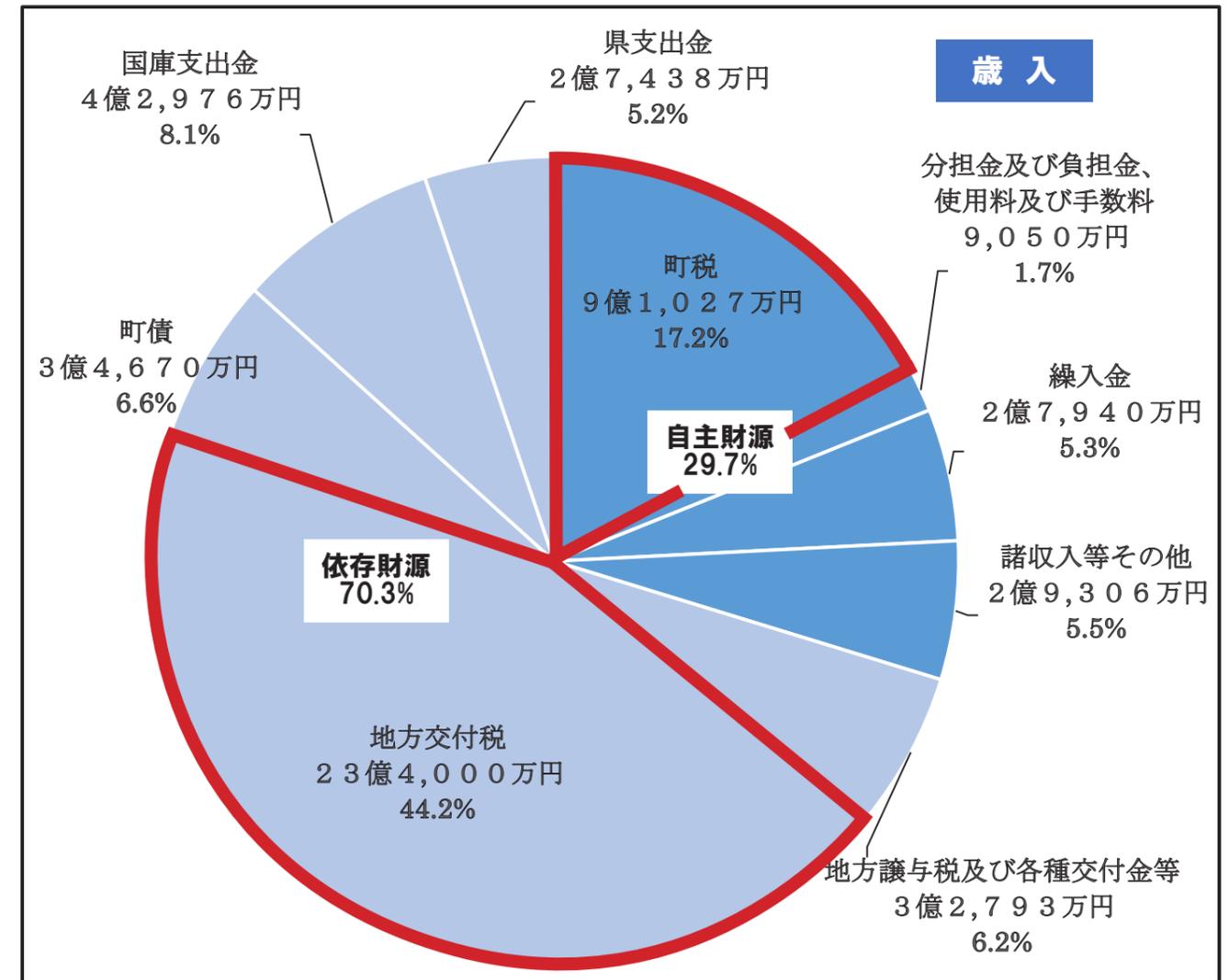
# 令和4年度 一般会計予算

# 52億9,200万円

(前年度比 +2億7,200万円)

## 令和4年度歳出予算 目的別構成割合

歳出目的	R4		参考 (R3 構成割合)			
	金額	構成割合	川崎町	村田町	蔵王町	山元町
	億円	%	%	%	%	%
議会費	1.1	2.0	2.1	1.8	1.8	1.3
総務費	9.2	17.4	18.4	15.3	18.3	20.1
民生費	9.3	17.6	19.2	23.7	25.5	22.8
衛生費	6.6	12.4	14.1	11.3	10.2	5.8
労働費	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
農林水産業費	3.5	6.6	5.7	4.3	3.0	6.0
商工費	3.2	6.1	3.2	1.6	2.9	1.6
土木費	6.0	11.4	10.8	11.1	8.2	15.8
消防費	2.3	4.4	4.4	4.3	3.9	3.9
教育費	8.4	15.8	15.4	11.8	18.2	13.8
公債費	3.2	6.1	6.5	14.6	7.5	7.4
その他	0.1	0.2	0.2	0.0	0.5	1.3
合計	52.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



## 令和2・3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

市町	交付額計	人口 (令和3年3月時点)	1人当たりの金額
仙台市	145億5,339万円	109万3,543人	13,308円
白石市	10億647万円	3万2,326人	31,135円
柴田町	8億1,667万円	3万7,135人	21,992円
蔵王町	5億1,295万円	1万1,428人	44,885円
村田町	4億8,251万円	1万383人	46,472円
川崎町	5億4,756万円	8,330人	65,734円

一般会計及び特別会計を合わせた令和4年度予算の総額は97億1,556万円です。前年度当初予算額と比較すると約4億円、4.2%の増となっております。

一般会計の予算総額は52億9,200万円です。前年度の当初予算額と比較すると2億7,000万円の増となっております。商品券発行事業など新型コロナウイルス感染症の対策事業が主な増加要因となっております。

会計	令和4年度	前年度比
一般会計	52億9,200万円	+2億7,200万円
国民健康保険	11億2,968万円	+2,024万円
後期高齢者医療	9,539万円	+718万円
介護保険	11億4,567万円	+667万円
温泉事業	1,540万円	+57万円
公共下水道事業	6億1,000万円	+7,710万円
病院事業	9億6,631万円	▲82万円
水道事業	4億6,111万円	+1,309万円
合計	97億1,556万円	+3億9,603万円

# 重点政策

単：町のお金だけで実施する政策  
補：国や県から全額又は一部補助を受けて実施する政策

## 1 主な新型コロナウイルス感染症対策

○新型コロナウイルスワクチン予防接種事業(補) [1140万円]  
円滑にワクチン接種を実施できる体制を整える。

○商品券発行事業(補) [6400万円]  
町内の商店で使用できる商品券を町民1人あたり7000円分配布。

○事業継続支援金事業(補) [3010万円]  
売り上げの減少した事業者へ、10万円を支給。

○観光客誘客のため、町内の宿泊施設の割引クーポンを発行。

○宿泊クーポン発行事業(補) [900万円]

○観光客誘客のため、町内の宿泊施設の割引クーポンを発行。

○小中学校換気機能付き空調設置事業(補) ★新規事業 [975万円]  
町内小中学校の特別教室に換気機能付き空調を設置。

## 2 人口減少・起業家支援の充実

○結婚支援事業(単) [30万円]  
結婚成立に対する祝い金を交付。

○地域おこし協力隊事業(補) [3426万円]  
起業・移住・地域づくり等の活動を協力隊が支援。

○移住定住促進事業(補) [1826万円]

○起業兼移住定住サポートセンター「SPRING」及びお試し移住施設「ENGAWA」の運営、空き家バンク制度の運用など、起業家・移住者への包括的な支援を実施。

## 3 高齢者支援の充実

○高齢者等移送用タクシー利用助成事業(単) [451万円]  
移動手段を有していない75歳以上の住民税非課税者へタクシー券

○農業用水路整備事業(補) ★新規事業 [550万円]

○清水河原地区における水路改修事業の調査測量設計業務を実施。

○新規就農定着促進事業助成金(補) [300万円]

○町認定新規就農者の営農定着支援のため、農業用機械等の導入経費の2分の1(上限100万円)を助成。

○担い手農家シルバー人材センター利用補助金(単) [300万円]

○新規就農者や認定農業者が除草作業などに、シルバー人材センターを利用した際の費用を補助。

○優良繁殖牛生産推進事業(単) [120万円]

○子牛販売による農家所得の向上を図るため、移植費用の一部を補助。

○セントメリースキー場設備更新事業(補) [8968万円]  
ナイター設備LED化、圧雪車購入、リフト設備等の修繕を実施。

を助成。

○シルバー人材センター運営事業補助金(単) [980万円]  
シルバー人材センターの安定した運営を行うため、事業費を補助。

## 4 子育て支援対策の充実

○乳幼児応援助成券支給事業(単) [480万円]  
おむつなどの購入費を助成。満1歳児までの乳児に対して1カ月あたり1万円の乳幼児応援助成券を交付。

○子ども医療費助成事業(補) [2492万円]  
子育て支援で高校生までの医療費を無償化。

○誕生祝い金支給事業(単) [450万円]  
子育て支援により、誕生祝い金を支給(第1子・第2子10万円。第3子以降30万円)。

○心のケアハウス運営支援事業(補) [724万円]

○不登校傾向にある児童生徒の早期学校復帰をサポートするため、

ケアハウスを運営。

○放課後児童対策事業(補) [4823万円]  
放課後や夏休みなど、児童を預かるため児童教室を開設。



▲元気いっぱいな川崎児童教室の子供たち

○学校給食費軽減事業(単) [792万円]

○小中学校に通学する児童生徒で、2人目以降の学校給食費を無償化。

## 5 健康増進策の充実

○子どもインフルエンザ予防接種助成事業(単) [283万円]

○子供たちの健康増進と子育て支援のため、インフルエンザ予防接種の費用を助成。

## 7 生活基盤・インフラ整備

○町道舗修事業(補) [6000万円]  
町道の舗装補修を実施。

①町道野上町裏線

②町道前川・枇杷落線

○橋梁補修事業(補) [9400万円]

○古くなった橋梁の補修を実施。

①支倉・村田線高橋橋

②町道荒町・前川線本城橋

○町営住宅整備事業(補) [6003万円]

①中原住宅の新築工事を実施(5018万円)。  
②老朽化した、北原住宅の屋根改修工事を実施(985万円)。

○消防車両購入事業(補) [1270万円]

○消防団青根班配備用として消防ポンプ自動車を1台購入。

## 8 その他

○学校施設整備事業(補) ★一部新規事業 [2206万円]

①富岡小学校体育館屋根改修工事、小中学校防犯カメラ設置工事、川崎中学校受電設備更新などを実施(1913万円)。  
②新型コロナウイルス感染症防止対策として、小中学校の消毒作業を実施(293万円)。

○農業用ハウス等施設設置事業補助金(単) [150万円]  
農業ハウス等の施設を設置する農業者に対し、費用の2分の1(上限30万円)を助成。

## 6 農業・観光業振興策の充実

○有害鳥獣対策事業(補) [2679万円]

○有害鳥獣処理施設経費、有害鳥獣防止施設整備費、野生動物忌避装置・わな等購入、有害鳥獣駆除、狩猟免許取得等を助成。



▲消毒作業は、シルバー人材センターが行っています。  
※写真は、陽性者が出た際のもののため防護服を着ています。



## お待たせしました。 数々の政策に着手!! 事業を紹介します。



### 商品券配布 予算 3,800万円

町内の全世帯に1万円分の商品券を配布。地元の商店を応援するとともに、各家庭の支援を図ります。商工会との連携です。みんなで地域を応援しよう。



### 空気清浄機設置 予算 880万円

こども園や福祉センターに2台ずつ設置。ホールなどの大きな空間でも感染予防対策が可能。子供たちやお年寄りの健康をしっかりと守ってまちづくりを進めます。



### 子育て支援 予算 820万円

0歳から中学校までの子供1人に1万円を助成。町内の子供約800人が対象です。子育て支援は、町民みんなの願い。国からの給付1万円(4月に決定)に加えて町からも助成されます。



### サーマルカメラ購入 予算 637万円

コロナウイルスとの長期戦に備えて、体温測定は基本です。精度の高いサーマルカメラを2種類、計23台を購入し、検温の時間を短縮します。体温はどうか?チェック体温。



### 事業者の支援 予算 600万円

休業に応じてくれた方に対して、お店の事業の継続を支援します。1事業者あたり30万円を支給。このうち3分の2は宮城県が、3分の1は町が負担することになります。



### 家族で感染者が出たら 予算 577万円

感染者が出たら、その家族は町で借りた温泉旅館に入ってください。旅館の借り上げ、管理、配食、除菌、クリーニングの経費を計上しています。

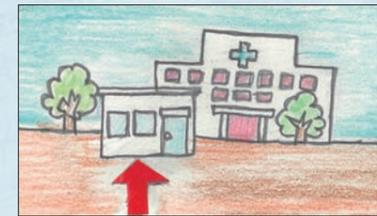
先月の広報でお知らせしたコロナウイルス対策が決定しました。議会からの要望、職員のアイデア、なにより町民の皆様の声を政策に反映させました。第2弾の対策もしっかり企画します。

ところで、国民に1人10万円を配る事業、川崎町は6月1日で84%の支給率。これは県南4市9町で上から3番目。町では県内でも稀な相談窓口を設置しました。

「わがねごとあったら、遠慮すねで来て下さい」と。

それが町役場の良いところであり、それを実践している職員をぜひ誉めてください。コロナウイルスへの対応は始まったばかりです。我々は何をすべきか。何ができるのか。しっかり考えて仕事をしてまいります。引き続きのご指導をお願い申し上げます。

コロナウイルス収束の7月を願って 川崎町長 小山 修作



### 病院のそばにユニットハウス 予算 390万円

感染が疑われる人とそうでない人を分けて診察するために、屋外にエアコンや空気清浄機のついたハウスを設置。院内感染を防止します。また、6月から面会の基準が変わりました。



### 幼児の感染予防に 予算 368万円

こども園・幼稚園の幼児が給食・保育時に使用するテーブルを1~2人用にし距離を確保。放課後児童教室にはエアコンがないため、冷風機を設置し対応します。



### 情報発信を強化 予算 350万円

コロナウイルス対策も町のホームページで。川崎町のホームページは情報満載、注目度抜群ですが、さらにスマホにも対応できるよう改修します。



### 宿泊クーポンを発行 予算 220万円

町内の宿泊施設で使える割引券5,000円を400枚発行。観光協会とスクラムを組んだ企画。今、国民が一番行きたい所は近場の温泉だそうです。わかるような気がします。



### 公共交通機関を支援 予算 150万円

コロナウイルス対策を実施した公共交通事業者に助成金を交付します。地域の人々の足となるバスやタクシーがなくなったら大変です。安全と安心の地域交通を。

イラスト：小山 修作



## お待たせしました。 3億522万円!! 次のページも必ず見てください



### 事業を支えます① 予算4,900万円

感染症拡大による営業自粛や売上げの伸び悩みにある事業者を支援。4～7月のいずれかの月の売上げが前年比で20%以上減少した事業者、個人事業主さん、次のページを見て相談窓口へ！



### 事業を支えます② 予算 3,160万円

町内事業者にマスク・消毒液の購入費用を支給(1,800万円)、キャッシュレス決済導入の事業者に10万円×100件。外国人労働者を抱える事業者に1人当たり3万円×120人を予算化しています。



### 要介護者の家族を支援 予算 1,524万円

外出自粛から要介護者の在宅時間が延長、家族の負担は増え収入は減少に。在宅介護世帯240世帯に5万円を支給。また、買い物がしづらくなった障がい者世帯434世帯に感染予防物品を配付(314万円)。



### 畜産経営を支援 予算 1,100万円

需要が落ち込み牛肉の相場が下落。また、小中学校の臨時休校などで牛乳の消費が低迷。コロナウイルスの影響で打撃を受けた畜産農家の経営を支援。飼養頭数によって支援金を決定し、上限は100万円。



### コロナ? かせ? 予算 1,320万円

コロナウイルスとインフルエンザの判別はとても難儀。医療現場の負担を軽くすべくインフルエンザを予防。これまで助成のなかった16～64歳の人にも自己負担1,000円で予防接種。かせは万病のもと！



### これは町が所有しています 予算 1,787万円

4つの廃校施設、スキー場、じゃっぼの湯、るぼぼの森は、町が所有。運営は事業者委託していますが、サーマルカメラ(767万円)、空気清浄機(930万円)等を準備して後方支援します。営業よろしく。

8月11日、コロナウイルスの国内の感染者が累計で5万人を超えました。感染者が大都市にとどまらず地方都市でも増えており、感染拡大は宮城県でも例外なく続いています。

おりしも、川崎町は総事業費、3億522万円となるコロナ対策の第2弾に着手。国からの助成金2億3,400万円を基に、33の政策を追加。主なものを紹介します。特に大切にしたのは、町内の事業者を支援すること、医療・介護現場の苦勞に目を向けること、要介護者・障がい者の家族の負担を軽くすること、そして、子供たちの生活・学習環境を整えることです。もちろん、これらの政策をしっかりと町民の皆さんに活用していただくため、相談窓口を設置しています。

「わがねごどあったら、遠慮すねで来て下さい」と。  
暑く重苦しい毎日が続きますが、お互い助け合ってコロナの年を乗り越えましょう。

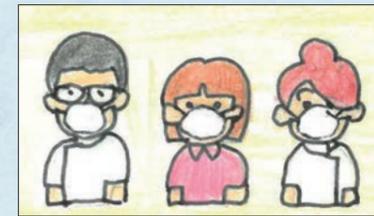
コロナウイルス対応の先頭に立って 川崎町長 小山 修作

町長が  
ゆく



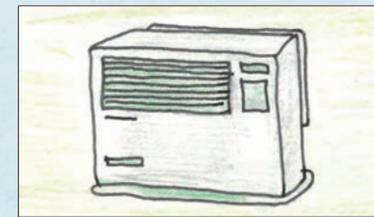
### 赤ちゃんから幼児まで 予算 741万円

国民1人に10万円は4月27日の時点。それ以降に生まれた赤ちゃんには町が10万円を支給(仙台市は5万円)。元気な仲間がいっぱいのこども園と幼稚園には空気清浄機の追加と監視カメラを設置します。



### 医療・介護の最前線に 予算 700万円

コロナウイルスの感染拡大を防ぎながら働いている医療と介護の関係者。心労が蓄積し、体力を消耗、費用もかさんでいます。病院、老人ホームなど町内にある18の施設を支援します。お世話になっています。



### 教室の環境をさらに向上 予算 3,772万円

小中学校69教室に空気清浄機(2,760万円)を新設。集団感染の予防と環境の向上を図ります。また、古くなったFF式暖房機12台を交換(300万円)。各小学校の児童教室にも安心な空間を(712万円)。



### パソコンで勉強しよう 予算 2,153万円

1人に1台のパソコンを。小学校215台、中学校131台、合計で1,903万円。また、子供たちが自宅でも学習できるようインターネットの通信環境を提供。モバイルルーター100台(250万円)を確保。



### 窓を開けて 心を開けて 予算 373万円

川崎病院の外来患者さんの待合室、換気を容易にするため網戸を設置し、傷んだ3人掛椅子は1人掛用と交換します。また、健診希望者用の更衣室の換気扇を更新して換気効率をアップさせます。

イラスト：小山 修作



## ワクチン接種、順調。 そして、さらに 1億6,145万円！



### 商品券を配布します 予算 6,470万円

町民1人あたり7,000円分の商品券を配布。コロナでやりくりの大変な各家庭を支援すると共に町内の商店を応援。昨年は各家庭に1万円でしたが、今回はさらに手厚い政策となります。



### 事業者を支えねば 予算 3,000万円

営業自粛等で売り上げの伸び悩みにある事業者を支援。昨年に引き続いての政策ですが、詳しくは役場2階の地域振興課へ。この政策については、宮城県より1,900万円の補助金が投入されます。



### 給食をより安全に提供 予算 1,889万円

学校給食調理場の内装を抗菌塗装し細菌の付着を防止します。また購入して22年の食器洗浄機、31年の食器消毒保管庫を交換。児童・生徒への給食をより安全に提供してまいります。



### にぎわい創出の事業 予算 1,000万円

新聞広告、情報誌、テレビ、ラジオで町を総合的にアピールして観光誘客を図り、ふるさと納税の拡大を目指します。また、情報発信のさらなる充実のためホームページを改修します。



### 宿泊クーポンを発行 予算 900万円

町内の宿泊施設で使える割引券5,000円を昨年の4倍、1,600枚発行。観光協会とスクラムを組んだ企画で、苦境にある旅館関係者を支援します。利用者は町内外を問わないので、早い者勝ち。



### 城山から蔵王を愛でる 予算 1,540万円

前回の改修から約30年、城山公園のトイレを洋式化、歩道を舗装するなど利用しやすい環境に。コロナ禍での町民の運動不足やストレス発散に新しい公園の利活用はとっても効果的です。

## 県内の市町村で2番目に完了

コロナ対策の決め手となるワクチン接種。65歳以上の高齢者の皆さんの1回目の接種が6月2日に完了。2回目は6月末に完了する予定です。山家・田中医院さまをはじめ、川崎病院のスタッフを中心に持てる医療資源を集中し、県内35市町村で2番目に完了する予定です。

さて、川崎町では総事業費、1億6,145万円となるコロナ対策の第3弾に着手。国からの助成金1億1,532万円を基に、21の政策を準備中。主なものを紹介します。

特に注目していただきたいのは、町民の皆さん全員に1人あたり7,000円分の商品券を配布することです。昨年は1世帯につき1万円でしたが、コロナ禍が1年以上続き、すべての家庭の経済政策として増額しました。商品券配布に6,470万円、今回のコロナ対策の40%の予算を占め、地元の商店や事業者を支援するものでもあります。

次に大きな予算をつけたのは、これも昨年に続く事業者支援の政策です。また、老朽化している給食調理場の内装に手を加え装備も新品に。ところで、ふるさと納税の額は着実に伸びていますが、さらなる増額を目指しての「にぎわい創出事業」も重要です。もちろん、これらの事業とともに川崎病院の院内感染対策や避難所の環境整備にも目を向けねば。

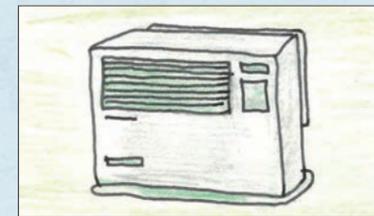
改めて、今私たちは経験したことのない状況の中にあります。正直なところ、誰もが現在、何が起きているのか分からないのかも知れません。分からないから何をすべきかも見えない。すべての人々が、そのもどかしさの中で苦しんだり、いらだったりしているのではないのでしょうか。ただ一つ言えることは、私たちは、お互いを思いやり助け合って生活しなければ、この状況を乗り越えてゆけないということです。

川崎町長 小山 修作



### 病院のコロナ対策強化 予算 763万円

川崎病院の院内感染を防止するため空気清浄機を設置。また、水道の蛇口を自動化するとともにスタッフの負担を軽減するため電動ベッドを導入します。病院は川崎町の財産です。



### 避難所に空気清浄機を 予算 886万円

町内24の避難所施設には、エアコンが設置されていますが、今回は空気清浄機を設置。今年2月以降、3回の大きな地震がありました。改めて、一つひとつ備えていかねばなりません。



### バスにさらなる対策を 予算 110万円

川内・本砂金方面と前川方面。そして、支倉方面の児童を運ぶ3台のスクールバス。加えて、町民の足となる町民バス4台の室内の抗菌・消臭対策を行い、車内の清潔感を持続させ感染予防を図ります。

イラスト：小山 修作

## 1 空き家バンク

不動産業者が取り扱わない、または存在が知られていない空き家の情報を収集し、空き家を探している方へ紹介する制度で、平成 25 年度に制度化しています。平成 27 年 2 月から空き家バンク制度の充実（補助金事業の導入）に取り組み、現在に至ります。



### NEW 今年度の新たな取り組み

#### ●新築住宅取得補助金

町内に新築を購入・建てた方に 30 万円を交付します。  
[45 歳以下対象]

#### ●空き家調査

近年は登録物件が減少傾向にあります。それを打破するため、シルバー人材センターに業務委託し、町内の空き家を探します。

主に高齢者世帯を訪問して、家屋状況だけでなく、生活状況を調査することで、安心・安全に生活できているか確認します。

#### ●「事前登録制度」の構築

将来空き家になり得る物件の事前登録を行う制度を構築予定です。事前に空き家バンクに登録することで、空き家期間が短くなり、防犯に役立つだけでなく、修繕費用が少なく済む等、多くのメリットが推測されます。

お問い合わせ  
地域振興課 (TEL0224-84-2117)

### ようこそ川崎町へ移住定住促進補助金

種類	補助率	限度額
住宅修繕改修	経費の 2 分の 1	15 万円
クリーニング	経費の 2 分の 1	10 万円
引っ越し	経費の 2 分の 1	10 万円
空き家取得	経費の 2 分の 1	50 万円
住宅家賃補助金	月額家賃 - 3 万円	月額 1 万円 (3 年間)
新築住宅取得	経費の 2 分の 1	30 万円

### 空き家バンクの実績 (R4.3.31 現在)

年度	物件登録数	利用登録数	契約数 (移住世帯)	契約数 (移住世帯以外)	契約数 合計	移住者数 (うち未成年数)
H25	0	1	0	0	0	0
H26	8	8	0	0	0	0
H27	22	25	6	0	6	15 (3)
H28	16	22	8	1	9	19 (7)
H29	18	35	11	1	12	30 (10)
H30	13	34	9	2	11	17 (5)
R1	21	36	8	3	11	19 (5)
R2	7	49	13	5	18	28 (7)
R3	12	50	6	8	14	15 (5)
合計	117	260	61	20	81	143 (42)

## 2 地域おこし協力隊

川崎町では平成 29 年度から「地域おこし協力隊」制度を導入し、「SPRING」の運営と移住支援を主な業務として毎年採用しています。令和 4 年 6 月 1 日現在、6 名の地域おこし協力隊が「SPRING」に常駐しています。

地域おこし協力隊は、移住者という視点から町の魅力を発掘し、ワークショップなどのイベントを企画・運営しています。地域の魅力・資源を再発見するなどして、新たな賑わいづくりに取り組んでいます。

また、「SPRING」の他にも林業や町の施設（るぽの森・じゃぼの湯）に常駐した地域おこし協力隊も令和 4 年度から採用しています。



### 地域おこし協力隊採用実績

年度	採用人数	移住元
H29	2 名 (男 1 女 1)	東京都、仙台市
H30	2 名 (男 1 女 1)	京都府、神奈川県
R1	2 名 (男 0 女 2)	仙台市、神奈川県
R2	3 名 (男 2 女 1)	仙台市
R4	6 名 (男 4 女 2)	仙台市、蔵王町、山形県

### 任期終了後の進路

- WEB デザイナー
- 飲食店経営
- 小売店 (雑貨・量り売り)
- 宿泊業 (百の宿)
- ※開業準備中も含む

### 移住定住・起業サポートセンター「SPRING」

「SPRING」は、移住定住・起業希望者の総合窓口としての機能のほか、コワーキングスペース等を備えた多機能型施設として平成 29 年 4 月に運営を開始しました。

また、令和 3 年度からは観光協会も常駐しています。

- 営業時間…午前 10 時から午後 5 時まで
- 定休日…月曜日 (祝日の場合は翌営業日)、お盆、年末年始
- 利用料…無料 (会員登録必要)
- お問い合わせ…TEL0224-51-8789



## 川崎病院の運営状況について

町内人口が減少し続ける状況下において、新型コロナウイルス感染症流行の影響による診療控えや、慢性定期薬処方期間の延長を国が進めたことで、ここ数年は外来患者数が年間2万5千人前後まで減少してきています。

一方、入院患者数については、仙南管内における高齢者福祉施設やみやぎ県南中核病院等との連携を強化し、他市町村からの患者も積極的に受け入れることで、入院患者数を確保している状況にあります。

下の【表1】については、平成27年度から令和3年度までの患者数の推移を表しており、水色で示している外来患者数は、平成29年度頃までは年間3万人前後を維持していましたが、その後は徐々に患者数の減少がみられています。

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきたこともあり、外来患者数については僅かに増加しています。

入院患者については、地域医療連携室のスタッフを拡充し、入退院における患者様へのサポートを強化したことで、ベッドの回転率も向上し、患者数の増加にもつながっています。

経営面では平成27年度以降、入院患者の増加に伴いゆるやかな改善傾向にあったものの、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行により入院患者数が大幅に減少したことで病床の利用率も低迷しました。

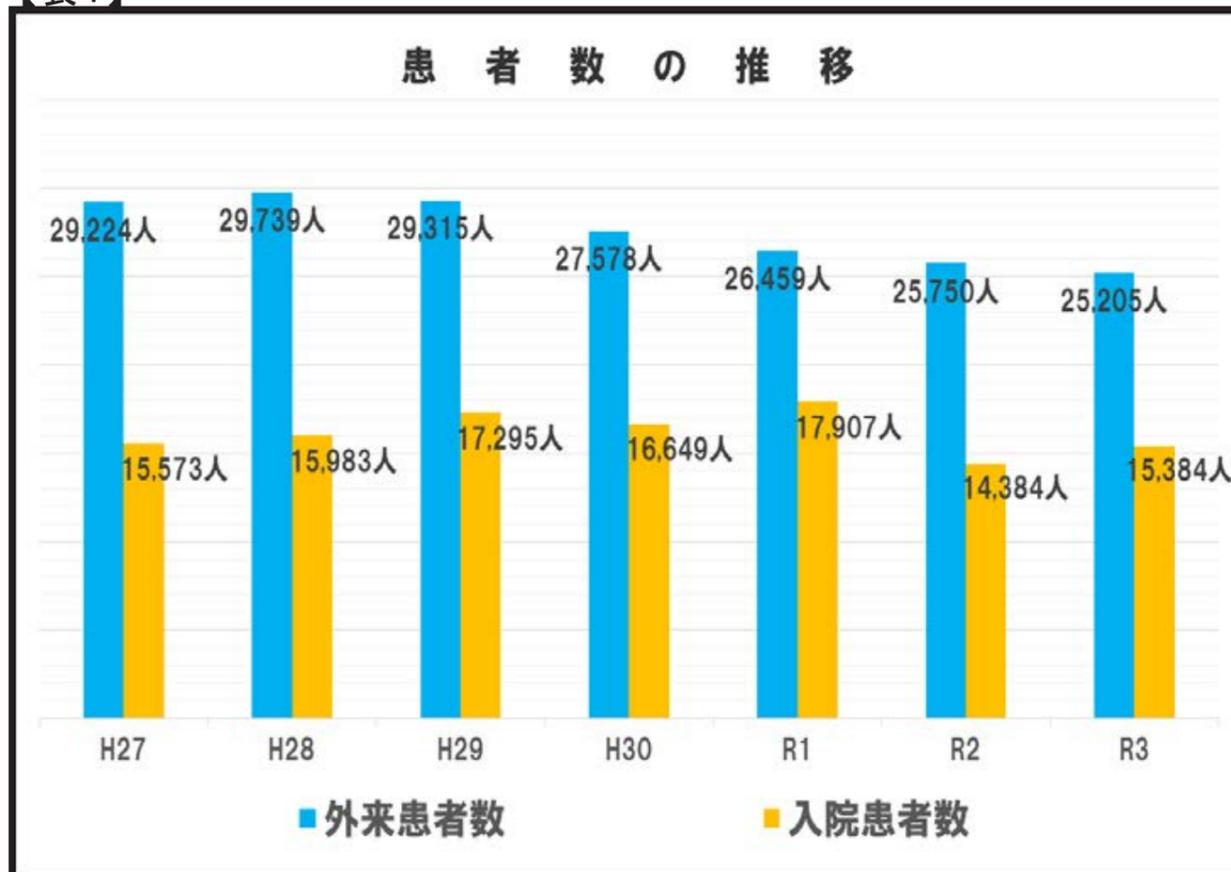
当院では、当面の運営資金を確保するため、令和2年度において5千万の追加支援を町より受けたことで、安定的な医療の提供を行うことができています。

下の【表2】については、町の一般会計から病院へ繰り入れされた金額と、病院の収支決算額の推移を表したものです。

ここ数年、町から繰り入れされた金額は3億円前後となっており、収支決算においても、▲1,000万円前後での決算状況となっています。

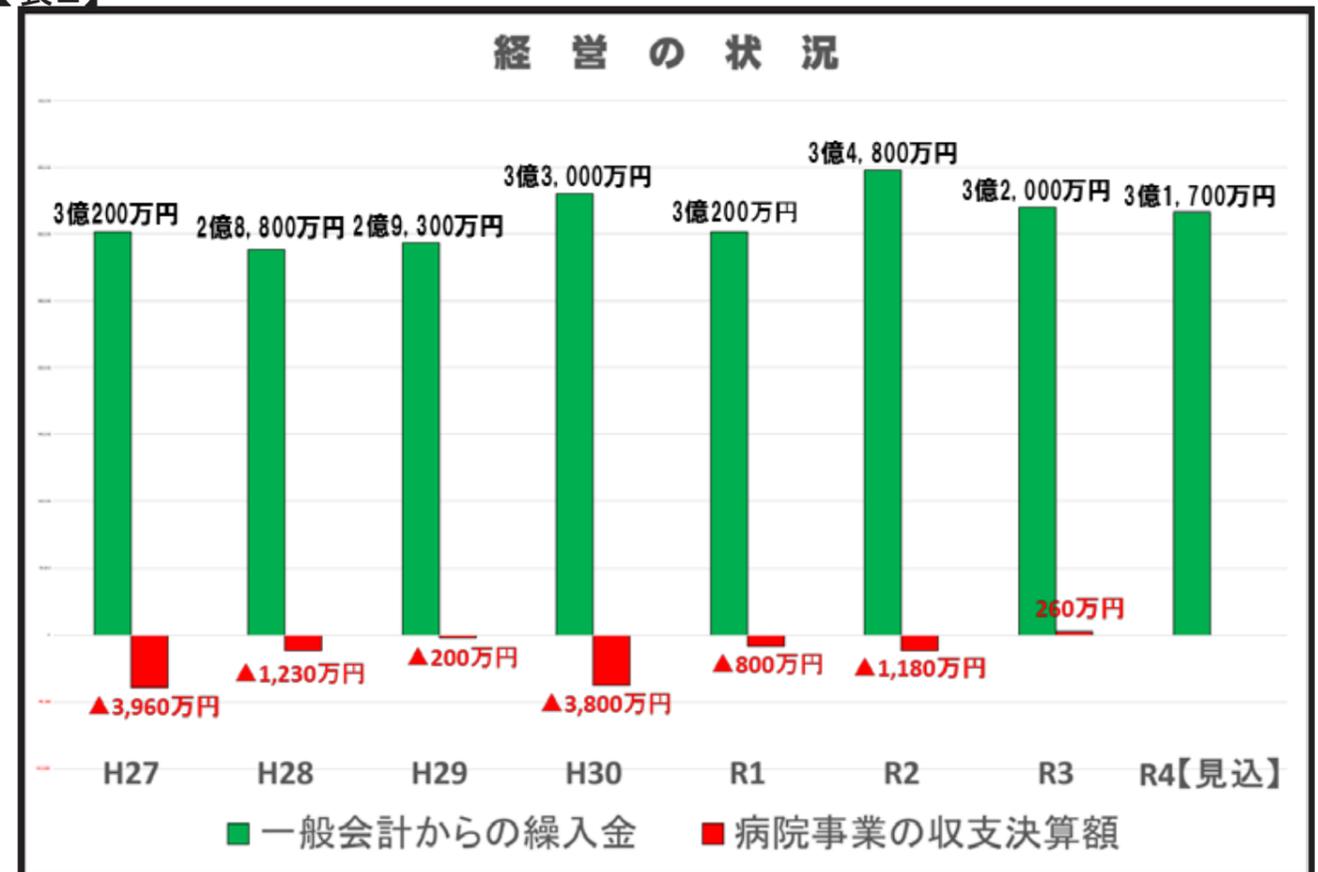
当該繰入された金額については、特別交付税として措置され、当該相当額が町に交付されることとなるものの、病院の安定的経営の為に、本業（入院収益、外来収益、健康診断等の公衆衛生活動収益）による収入を増やすことが求められており、患者の確保対策が今後の一層重要なテーマとなっております。

【表1】



【参考】  
病床の利用率

【表2】

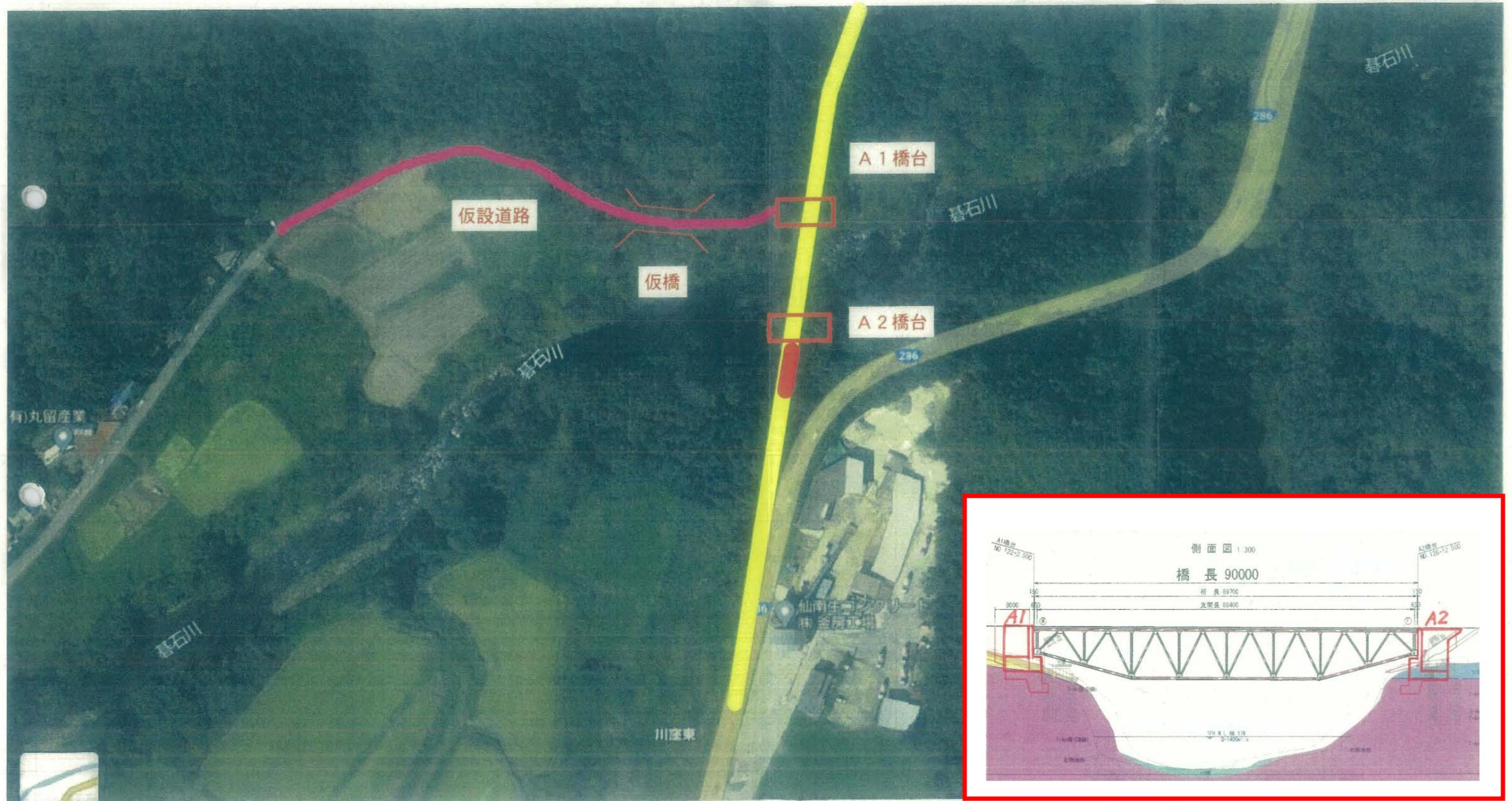


H27 72.5% H28 75.5% H29 81.7% H30 78.6% R1 84.4% R2 67.9% R3 72.7% R4 80.0%



# 国道286号バイパス工事 ー令和4年度 宮城県工事分ー

仙台市赤石へ



碓石へ

# 新型コロナワクチン予防接種について

(令和4年8月24日現在)



## ① 4回目接種の状況

- 対象者：3回目の接種日から5カ月を経過した60歳以上の方と18歳以上の持病をお持ちの方※  
※(例)慢性の呼吸器疾患、心臓病や糖尿病など、重症化リスクが高いと医師が認める方など  
〔特記〕年齢等に関わらず医療従事者、高齢施設職員も追加対象者になりました。
- 健康福祉センター接種日程：7月29日(金)～9月2日(金)
- かかりつけ医の町内2医院も個別接種中 9月末までには完了予定

## ② 5～11歳小児ワクチン(2回)のお願い

- 3月から川崎病院で接種開始しています。
- 接種率(R4.7月末) 52.2%
- 9月から予防接種法上の「努力義務」に!
- 相談や予約は保健福祉課へ



コロナワクチンのご相談は、  
保健福祉課  
84-6009 まで

## ③ 3回目まで接種を終えていない方へ

- 随時対応中です。
- 保健福祉課へご相談ください。
- 日程調整のうえご連絡します。

## ④ オミクロン株対応ワクチンの接種のこと

- 8月上旬にオミクロン株に対応したワクチンの接種体制を準備するよう指示あり。
- 初回(2回)接種を完了したすべての方を想定して準備
- 10月中旬以降の予定
- 対象者の範囲、ワクチンの配給や4回目接種を終えた方の接種間隔など未定
- 町民の皆様に丁寧に周知、ご案内していく。

○「陽性になった方」や「濃厚接種者」で、保健所からの連絡等がない、対処に苦労されているなど、ご心配なことがあれば気楽にご相談ください。

身近な保健師等が丁寧に対応しています。

# つづらご(帯状疱疹)予防接種について

つづらご(帯状疱疹)は怖い、痛い! 病気です。

本年度から川崎町では、県内市町村に先がけて、予防接種費用の6割を助成しています。



## つづらごとは?

- つづらごは、水ぶくれや赤い発疹が出てとても強い痛みを伴い、その痛みは3～4週間ほど続く、手ごわい病気です。
- 日本人の多くがつづらごの原因となるウイルスが体内に潜んでおり、50歳を過ぎると発症しやすくなります。80歳までに約3人に1人になるといわれ、川崎町でも発症数が急増していますが、ワクチン接種で発症を予防することが期待できます。

## 対象となる方

- 川崎町に住民登録がある満65歳以上の方

## 助成の回数及び上限額

- 帯状疱疹ワクチンには2つの製品があり、効果や接種対象などに違いがあります。接種の際は必ず医師にご相談ください。ワクチンによって接種回数異なります。ご注意を!

対象ワクチン	助成上限額	川崎病院	山家医院	田中医院
①ビケン(生ワクチン) 皮下注射	1回のみ 4,800円まで	○	○	○
②シングリックス (不活化ワクチン) 筋肉内注射	2回 各13,000円まで (2回目は、1回目接種から2カ月後～6カ月までに接種)	○	○	—

## 接種・申請手続き

- 接種の際は、事前予約が必要です。
- 町内の医療機関で接種を受けた場合は、医療機関の窓口で接種費用から助成金額が差し引かれます。
- 町外の医療機関で接種した場合は、一旦医療機関の窓口で接種費用を全額支払っていただきますが、保健福祉課に払い戻しの手続きをしてください。
- 詳細は、保健福祉課 健康推進係 へ 電話(84-6009)してください。